

学校長より職員に向けた内容になっています

学校運営の様子(抜粋)となりますが、参考までにご覧ください。

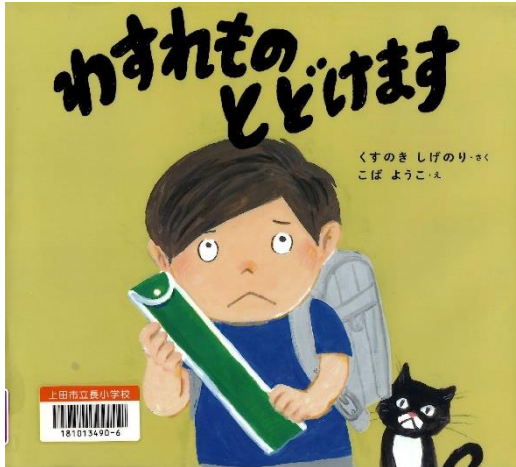
職員会議資料(上田市立長小学校) 校長室から④ 抜粋

令和7年7月7日

西澤直記

一 子どもたちと職員の様子

＜校長講話より＞ 6月18日(水) 自分なりに本の世界に入り考える子ども達
くすのきしげのり 作 こば ようこ 絵



＜見えてきたこと＞

丁度給食後の午後、体育館は暑い中でしたが、対面の読み聞かせを通して、子ども達が良く聞き本の世界に入りこんでいたように感じた。そして、人まねではない自分なりの考えは持っているようであった。



今までは、そのわけや理由になると躊躇してしまう児童が多かったが、この時には何人かの子の手があがって、自分なりの言葉で何とかして笑われている子の立場になって止めようとする思いが語られた。その後の児童の言葉からも「止めるために怒る!」という言葉が続いた。この時に私の問い返してさらに「どうして?」と聞けば、もっと多様な思いが言葉になったかもしれない。反省である。

全体的には自分の思いを語り始めている様子がうかがえた。さらに、本校の重点目標である自己発揮の一步先の力をつけるためには、

・違う見方考え方を自問する(視点を変える)・違う見方考え方を聞く(揺さぶり)が大切になってくる。言いつばなしからの脱却が必要だと感じた。全校の前で言えたことに拍手している段階からさらに一步前進したい。それには、やはり小グループでの対話が必要かなあとも感じた。



＜主幹・市教委訪問より＞

6月23日(月)AM 東信教育事務所 と 上田市教育委員会 による学校訪問
様々な面から指導・助言をいただき、今後活かしていきます。

二 連絡

(1) 非違行為防止研修 「長小から非違行為を絶対に出さない」自分事として考える 同僚性を高めること(日頃からの職員同士の意思疎通力)が大事なポイントになると思います。

・飲酒して自転車を運転することは禁止されており、これまでは酩酊状態で運転する「酒酔い運転」のみ処罰の対象でしたが、道路交通法が改正され、令和6年11月から「自転車の酒気帯び運転」が新たに罰則の対象とされました。自転車は身近で便利な乗り物ですが、交通ルールの遵守や飲酒運転の禁止についての認識が甘くなってしまうがちです。自転車の飲酒運転も、自らの意思により行われ、ひとたび事故が起これば深刻な結果を招く悪質な犯罪行為であることを認識し、「自転車でも飲酒運転を絶対にしない、させない」という強い意志を確認してください。

自転車の酒気帯び運転とスマホなどのながら運転が罰則付き違反（赤切符）となり、行政処分の対象となります。実際に、自転車の酒気帯び運転で検挙され、その後、車でも交通の危険を生じさせるおそれがあるとして、運転免許停止処分を受けた事例があります。

・昨今の全国の教職員によるスマホに関わる不祥事案件からも、スマホ使用ではなく、学校のデジカメによる写真撮影に限定。

・親でも体罰禁止（法律化・ささいな虐待情報でも報告の義務あり つかんだ情報から福祉課連動）・学校敷地内は全面喫煙禁止

- (2) ①自己管理(PH メール確認) ②複数の目で互いに確認(週暦 月歴の活用)したい。新たなシステム(出張連絡学年会議 連絡日報復活・・・)構築も検討か・・・
- (3) 本年度より県費職員に対してフレックスタイム制が適用となりました。C4thで発信されている添付ファイルをお読みください。
- (4) 養護教諭より発信されている通り職場の熱中症対策が罰則付きで義務化(6月1日～)されておりますので、子ども達はもちろんのこと先生方も十分暑さ対策を施し、熱中症にならないよう配慮して過ごしていきましょう。

6月17日(火)
13:30…最新式計測器で校庭の日当たり気温35℃
WBGT 27.1(暑さ指数) 厳重警戒。
31以上になったら運動など原則禁止となります。7月1日(火)14:00 上田市内でついにWBGT31に達しましたが、長小ではそこまで至りません

暑さ指数(WBGT)	注意すべき生活活動の目安(*1)	日常生活における注意事項(*1)	熱中症予防運動指針(*2)
31℃以上	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が高い。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。	運動は原則中止 特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合には中止すべき。
28～31℃		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。	厳重警戒(激しい運動は中止) 熱中症の危険性が高いため、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。暑さに弱い人*は運動を軽減または中止。
25～28℃	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に充分に休憩を取り入れる。	警戒(積極的に休憩) 熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
21～25℃	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。	注意(積極的に水分補給) 熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。

でした。毎日時間ごとに養護教諭が最新の計測器で気温・WBGT など計測し子どもたちの安全を守ってくれています。

- (5) 夏休みわくわく体験学校(真田地域)に協力できる先生はいますか？

8月6・7日(水 木) いずれか1日…例年地域の子供達から人気のあるイベント(川遊び・座禅・川で水晶さがし・飯炊き)…千古温泉周辺 寺 で実施 例年子ども80名ほど
研修扱いとなります。希望者は校長までお知らせください。